

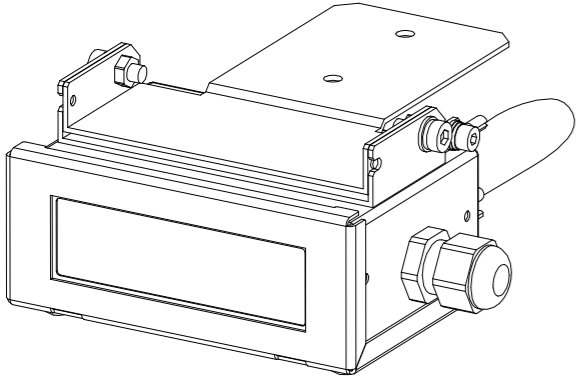
MITSUBISHI

近赤外線照明灯

形名

K-9880

取扱説明書 / 保証書

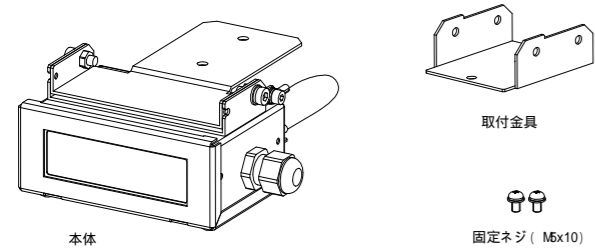


このたびは近赤外線照明灯をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なお読みください。保証書は、この取扱説明書についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

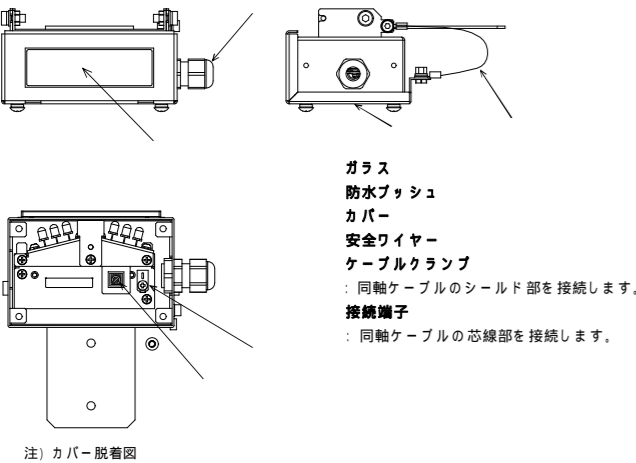
U871Z107001B
SM-Y7733A
©2006 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHT RESERVED

この取扱説明書は再生紙を使用しております
2006年2月作成

構成



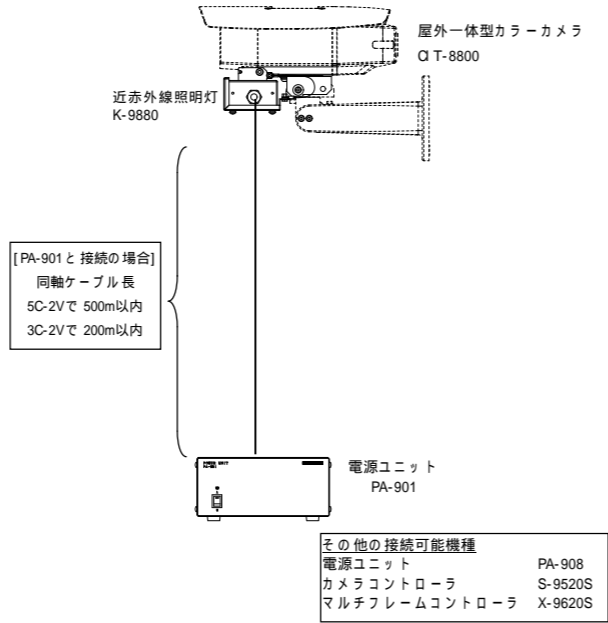
各部の名称



ガラス
防水ブッシュ
カバー
安全ワイヤー
ケーブルクランプ
: 同軸ケーブルのシールド部を接続します。
接続端子
: 同軸ケーブルの芯線部を接続します。

注) カバー脱着図

構成例



- 近赤外線照明灯と電源ユニット(カメラコントローラなど)の間は、5C-2V(3C-2V)で500m(200m)以内で接続してください。最大ケーブル長を超えて接続すると、電源の供給が行えなくなります。
- 近赤外線照明灯と電源ユニット(カメラコントローラなど)の間には、他の機器を接続しないでください。電源の供給ができなくなります。

この製品は厳密な品質管理のもとで製品検査に合格したものです。お客様の正常な使用状況において万一故障した場合には、保証規定に基づきサービスセンターが修理いたしますので本書を提示してください。本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。保証書にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために記録内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

製造番号	K-9880	
お客様	様	
ご住所	〒	
TEL	TEL ()	
年月日	年 月 日	から
保証期間	1年間	

お問い合わせは、保証書に記載の販売店へどうぞ

安全のために必ずお守りください

使用上のご注意説明書

本文中に使われる「図記号」の意味は右のとおりです。ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使い下さい。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

	禁止		指示を守る
	分解禁止		

警告		誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷などに結びつく可能性があるもの	
	点灯中の照明の前に物を置いたり照明部を布などで覆ったりしない		点灯中の照明に触らない
火災、故障の原因となります。		感電、やけどの原因となります。	
	ケースははずさない分解・改造しない		指定の電源ユニットを使用する
本機の内部にさわったり、改造すると火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。		指定の電源ユニット以外で使用すると、火災の原因となります。	
	万一異常が発生したら、電源ユニットの電源をすぐ切る！		異物をいれない
点灯しない、煙、変な音においがするなど、異常状態のまま使わないでください。火災の原因となります。このようなときはすぐに電源ユニットの電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなったのを確認して販売店に修理をご依頼ください。		金属類や燃えやすいものなどが入ると火災の原因となります。万一異物が入ったときは、すぐにカメラコントローラなど(電源ユニット、カメラコントローラ、マルチフレームコントローラなど)の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡してください。	

お手入れのしかた

- 電源を切ってからお手入れをしてください。
- 汚れがひどいときは、水で十分うすめた中性洗剤で拭いてください。

故障かな?と思ったら

- 下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は電源を切ってから販売店にお申しつけください。
 - 各ユニットの電源プラグがはずれていませんか?
 - 同軸ケーブルは正しく接続されていますか?
- 設置時より照明が暗いと感じた場合は、照明用LEDの寿命による影響が考えられますので、販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス

- 本保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡しますので、お受け取りの際は「保証期間」、「販売会社」をご確認の上、大切に保管してください。

保証規定

(1) 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。

(2) 保証期間中でも次の場合には有料修理になります。ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、及びその他天災地変などによる故障及び損傷。特殊環境(たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など)による故障及び損傷。本書のご提示がない場合。特殊環境(たとえば極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など)による故障及び損傷。本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。本保証書は、日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN)
- 補修用性能部品の保有期間
補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後7年です。(性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です)。詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

注意		誤った取扱いをしたときに、傷害または家財・家財などの損害に結びつく可能性があるもの	
	無理な力を加えない		同軸ケーブルを傷つけたり、加工しない
本機に無理な力を加えないでください。無理な力を加えると壊れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。		重い物をのせたり、熱器具に近づけないこと。傷ついたケーブルをそのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。ケーブルが傷んだらすぐ販売店にご連絡ください。	
	国外での使用禁止		移動させる場合は外部の接続線ははずす
本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では使えません。This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.		同軸ケーブルに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。移動させる時は同軸ケーブル、機器の接続をはずしたことを確認してください。	
	定期的にお掃除を		
販売店におまかせください。定期的な掃除は火災・故障を防ぎます。特に梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については販売店にご相談ください。			

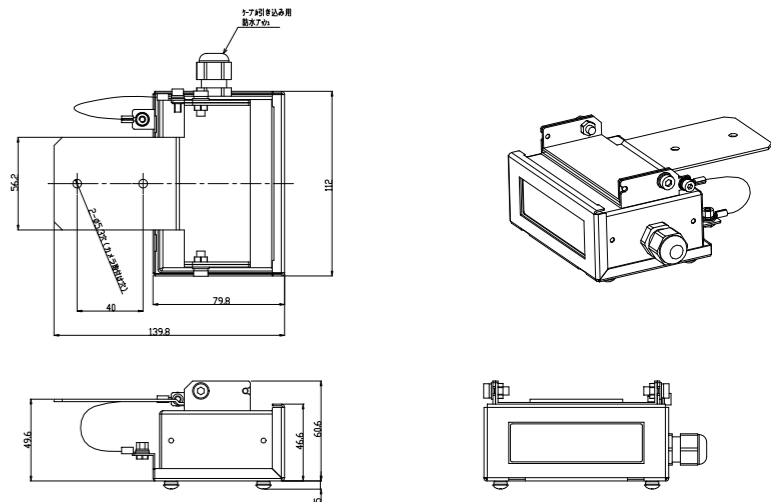
お願い	
	持ち運びはしていないに
本機は落下すると破損する可能性があります。持ち運びには十分に注意して行ってください。	
	ケースを傷めないために
ベンジンやシンナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげたりする原因となります。【化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。】	
	本体のお手入れは
お手入れの際は電源ユニットの電源プラグをコンセントから抜いてください。やわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、拭いてください。	
	使用温度範囲でご使用を
本機の使用周囲温度は-10 ~ +50 度です。使用周囲温度外でご使用になると故障の原因となることがあります。	

仕様

(1) 電源	専用カメラコントローラ相当品より供給
(2) 最大ケーブル長	5C-2V 500m
(3) 照射範囲	約8m, 水平約74°, 垂直約55.5°
(4) ON/OFF切換	自動
(5) 使用温度、湿度	-10 ~ +50、80%RH以下(但し、結露しないこと)
(6) 構造	IP66(JIS C 0920)
(7) 質量	約0.7kg
(8) 塗装色	マンセル5.4Y7.2/0.5(5ツツヤ)相当
(9) 外形寸法	112(W) x 46.6(H) x 79.8(D) mm
(10) 付属品	取付金具 : 1 取付ネジ(M5 X 1.0) : 2 取扱説明書/保証書 : 1

本製品(近赤外線照明灯)を使用することにより、被写体の色合い等によって映像が日中での見え方と異なる場合があります。

外形図



据付上のお願

配線に際して電灯線やテレビのアンテナ配線に近づけて引き回したり、インターホーンやモニターの近くにある場合、映像やインターホーンに雑音が入る場合があります。その時は配線や位置を変えてください。

カメラを設置される周囲の温度は、-10 ~ +50、湿度は80%以下(結露しない場所)でご使用ください。特に調理室やボイラー室など温度や湿度の高い所での使用は、性能を低下させますので離れた位置でご使用ください。また、電源ユニットの使用電源は90V~110Vでお使いください。

本機は十分な強度をもった場所に取付けてください。取付強度が不足していると、モニター上で映像がブレたり、最悪の場合落下の危険があります。また、エアコン等振動の発生する機器の近くに設置しますと映像がブレる場合がありますので振動の発生する機器の近くに設置しないでください。

照明は被写体まで距離が近いと反射光が強すぎて映像が白くつぶれたり、カラー/白黒切替がON/OFFを繰り返すことがあります。被写体までの距離を3m以下に設置しないでください。

本機は光で反応するセンサーにて自動点灯を行っております。このため本機正面に強い光が入ると被写体が暗くても点灯しない恐れがありますので、強い光が本機正面に入る方向または場所に設置しないでください。

本機をFGに接続しますとカメラ映像にノイズが発生する場合がありますので、FGに接続しないように設置してください。

設置の使用工具

・プラス (+) ドライバー (2番)	1本
・六角レンチ (対辺3mm)	1本
・六角レンチ (対辺4mm)	1本

据置き設置方法

カメラ水平方向~下向き15°の範囲の場合

注意
高所で作業する場合は、カメラ及び近赤外線照明灯を落下させないように注意してください。

- 取付足の角度変更してください (取付足の設定を参照してください)
- 固定とカメラの配線 (カメラの据付工事説明書を参照してください)
- カメラ付属のカメラケース取付金具の代わりに付属の取付金具をカメラの下側に添付のネジ(2ヶ所)で固定します。 [推奨締付けトルク 2.85N・m]
- 取付金具を取付足固定ネジ(2ヶ所)に歯付きワッシャーを通して取付足に固定します。 [推奨締付けトルク 5.9N・m]
- 同軸ケーブルの接続します。(同軸ケーブルの接続方法を参照してください)

設置前の準備

カメラの設定

本製品を最適にご利用いただくためにカメラを以下のように設定することを推奨します。

1. レンズ位置: 望遠「TELE」
2. カラー/白黒切替: 白黒「BW」又は自動「AUTO」
3. 電子シャッター: 自動電子「AUTO」にて「MAX」「GAIN」「X1」~「X4」

カメラ映像が明るい部分が白くつぶれてしまう場合は、Y CONTROLメニューの逆光補正の設定を「SPOT」にして測光枠を指定してください。(カメラの詳細設定はカメラの取扱説明書を確認してください。)

カメラのレンズ調整

本製品を最適にご利用いただくためにカメラのレンズを以下の設定にて調整してください。

1. フォーカス調整: 電子増感をOFF状態でアイルス最大開放の状態ではフォーカスを合わせる。アイルスを最大開放とするには以下の方法があります。

(1) シャッター速度を高速に設定する(工場出荷設定から以下の操作を行います)。Y CONTROLメニューに入って「GAIN SEL」を選択し、「AGC」のSETを選択します。AGC SETメニューの「SHUTTER」を選択し、「UP/DOWN」スイッチでシャッター速度の設定を可変します。

UPスイッチを押す毎にシャッター速度が高速側に設定されます。映像にノイズが増えきたところでシャッター速度の設定を止めます。(目安: 晴天...1/10000、曇り...1/4000)

(2) NDフィルタを使用し暗くする。NDフィルタは、FJ FILM社の光量調整用フィルタ、濃度は2.0~4.0(減衰率1/100~1/10000)を使用することを推奨します。(目安: 晴天...濃度4.0、曇り...濃度3.0)

カメラの詳細設定はカメラの取扱説明書を確認してください。

取付足の設定

設置場所によって取付け方法が変わりますので、以降の設置方法を確認し下記作業が必要な場合に作業を行ってください。

この固定ネジを1度外して位置を変える

上図のように固定ネジ(1箇所)を外し、矢印の方向に90度回転させ、再度外したネジを固定します。

壁掛け設置方法

カメラ水平方向~下向き15°の範囲の場合

注意
高所で作業する場合は、カメラ及び近赤外線照明灯を落下させないように注意してください。

- 取付足の角度は工場出荷状態のまま使用します。
- 固定とカメラの配線 (カメラの据付工事説明書を参照してください)
- カメラ付属のカメラケース取付金具の代わりに付属の取付金具をカメラの下側に添付のネジ(2ヶ所)で固定します。 [推奨締付けトルク 2.85N・m]
- 取付金具を取付足固定ネジ(2ヶ所)に歯付きワッシャーを通して取付足に固定します。 [推奨締付けトルク 5.9N・m]
- 同軸ケーブルの接続します。(同軸ケーブルの接続方法を参照してください)

天井り設置方法

注意
高所で作業する場合は、カメラ及び近赤外線照明灯を落下させないように注意してください。

- 取付足の角度変更してください (取付足の設定を参照してください)
- 固定とカメラの配線 (カメラの据付工事説明書を参照してください)
- 近赤外線照明灯本体をカメラの下側にカメラ付属のネジ(2ヶ所)で固定します。 [推奨締付けトルク 2.85N・m]
- 同軸ケーブルの接続します。(同軸ケーブルの接続方法を参照してください)

カメラ下向き15°~90°の範囲の場合

注意
高所で作業する場合は、カメラ及び近赤外線照明灯を落下させないように注意してください。

- 取付足の角度変更してください (取付足の設定を参照してください)
- 固定とカメラの配線 (カメラの据付工事説明書を参照してください)
- カメラ付属のカメラケース取付金具の代わりに付属の取付金具をカメラ本体の下側に添付のネジ(2ヶ所)で固定します。 [推奨締付けトルク 2.85N・m]
- 取付金具を取付足固定ネジ(2ヶ所)に歯付きワッシャーを通して取付足に固定します。 [推奨締付けトルク 5.9N・m]
- 同軸ケーブルの接続します。(同軸ケーブルの接続方法を参照してください)